

(ウ) 女性

低出生体重児はその後の生活習慣病の発症率が高いとされることから、若い頃からの健康管理（やせや低栄養）が必要です。

ライフステージごとに女性ホルモンが変化する特性を踏まえ、各段階の健康課題解決を図る必要があります。

<県の現状> ※健康ちば21（第2次）の最終評価から抜粋

「適正体重を維持している者の増加」

肥満者割合は、40～60歳代の女性で悪化傾向です。目標値に達していません。

※最終評価はR4県民健康・栄養調査結果が出ていないためデータなし。

計画策定時 (H22)	中間評価(H27)	最終評価 (R4)	第2次目標値
22.1%	23.4%	-	19%

(データソース：県民健康・栄養調査)

「適正体重を維持している者の増加」

やせの者の割合は、20歳代女性で減少傾向です。目標値に達していません。

※最終評価はR4県民健康・栄養調査結果が出ていないためデータなし。

計画策定時 (H22)	中間評価(H27)	最終評価 (R4)	第2次目標値
19%	16.7%	-	15%

(データソース：県民健康・栄養調査)

「20歳未満の者の飲酒をなくす」「妊娠中の飲酒をなくす」

いずれも減少していますが、目標値に達していません。

※健康ちば21（第2次）では、20歳未満の者を「未成年」と表記しています。

計画策定時 (H23)	中間評価(H29)	最終評価 (R3)	第2次目標値
15～19歳男子 13.9%	2.4%	3.2%	0%
15～19歳女子 15.2%	2.8%	1.2%	0%
妊娠中 1.9%	1.8%	0.6%	0%

(データソース：生活習慣に関するアンケート調査、妊娠届出時の聞き取り調査)

「がん検診の受診率の向上」（子宮頸がん(20～69歳)）  
子宮頸がん受診率は、悪化傾向です。目標値に達していません。

計画策定時 (H22)	中間評価(H28)	最終評価 (R1)	第2次目標値
39.9%	44.2%	41.8%	50%

(データソース：厚生労働省「国民生活基礎調査」)

「妊娠中の喫煙をなくす」  
減少していますが、目標値に達していません。

計画策定時 (H22)	中間評価(H28)	最終評価 (R3)	第2次目標値
5.0%	2.2%	1.5%	0%

(データソース：妊娠届出時の聞き取り調査)

#### <県の課題>

- 低出生体重児はその後の生活習慣病（NCDs）の発症率が高いことから、若い頃からの健康管理（やせや低栄養）が必要です。
- アルコールによる健康影響を受けやすく、健康に配慮した飲酒の普及啓発が必要です。
- 若い世代からのたばこによる健康被害の普及啓発が必要です。
- がん予防に係る感染対策による発症予防が必要です。

#### <県が実施する具体的施策・取組の方向性>

- 1 若い世代の女性への普及啓発
  - やせに関連した、低出生体重児の出産や将来的な骨粗鬆症等のリスク、適切な食事摂取等について普及啓発を行います。
- 2 アルコールによる健康影響、健康に配慮した飲酒の普及啓発
  - 妊婦の飲酒の低減や根絶には、教育活動が重要です。学校教育と協力し、家庭や地域を巻き込んだ普及啓発を行います。
- 3 妊婦の喫煙（受動喫煙を含む）防止
  - 市町村と協力し、妊娠届の提出、母親学級・両親学級等の機会に妊娠中の喫煙による合併症のリスクや児（胎児）への影響についてお知らせする冊子を配付します。
- 4 がんに関連するウイルス感染対策
  - 子宮頸がんワクチンに関する知識の普及と、予防接種の推進を図ります。

<目標>

No	目標項目	現状値	目標値 (R14年度)
1	【再掲】 適性体重を維持している者の増加（若年女性のやせの減少）	16.7% (H27年度)	15%未満
2	【再掲】 骨粗鬆症検診受診率の向上	9.0% (R3年度)	15%
3	【再掲】 生活習慣病（NCDs）のリスクを高める飲酒をしている女性の減少	9.4% (R3年度)	6.4%
4	【再掲】 妊娠中の飲酒をなくす	0.6% (R3年度)	0%
5	【再掲】 妊娠中の喫煙をなくす	1.5% (R3年度)	0%

